

たかみらいふ!

～「たかみ」「みらい」「らいふ」～

文責：コミュニティ・スクール推進員 大空秀文



菊の
菊之助

「たかみらいふ!」は、高美が丘小・中学校と地域のつながりをさらに深め、学校づくり、地域づくり、自分づくりを推進するために、コミュニティ・スクールである高美が丘小・中学校について、地域に関わる歴史、人物等をこのまちで暮らす皆様に発信するために作成しています。タイトル「たかみらいふ!」には、「高美が丘小・中学校を意味する「たかみ」「まちの未来を意味する「みらい」「地域での生活を意味する「らいふ」という言葉があり、小・中学校と地域がさらにつながり、輝く未来を生きていこう!という思いがあります。HPでカラー版掲載中!

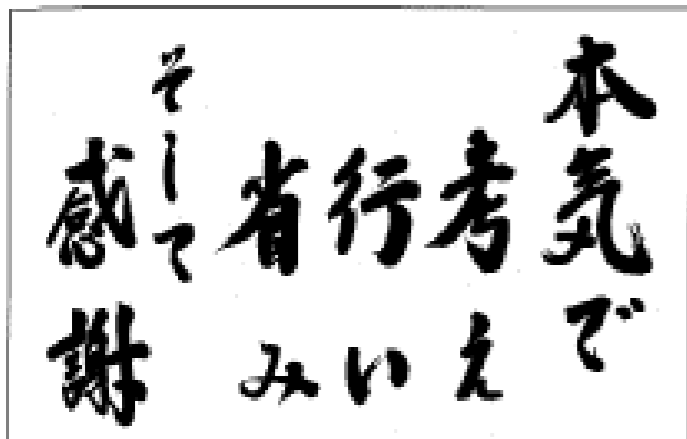
本気で、そして感謝 高美が丘中学校!

「たかみらいふ!」第4号では、創立30周年を迎えた高美が丘中学校について、高美が丘中学校の建学の精神「本気で 考え 行い 省み そして感謝」と、これまでの中学校と地域の共育活動の2点からご紹介します。

○高美が丘中学校と校訓「本気で 考え 行い 省み そして感謝」

今年度、高美が丘中学校は創立30周年を迎えることになりました。高美が丘中学校は、東広島ニュータウンの建設に伴い、高屋中学校から分離することで生まれ、創立にあたっては、高屋中学校を参考にし、高屋中学校に負けないような素晴らしい学校にしていこうという思いがあったそうです(『発見! 探検! 我がまち高美 総合的な学習の時間「地域の新聞づくり」平成16年度』より)。この思いを象徴し、今もなお受け継がれているものが、高美が丘中学校の校訓です。

高美が丘中学校の校訓は、「本気で 考え 行い 省み そして感謝」です。これは、高屋中学校の校訓「よく 学び 考え 行い 省みる」をモデルにしています。二つの校訓は似ているところがありますが、高美が丘中学校の校訓には、「本気で」と「そして感謝」があります。ここが、高美が丘中学校の「本気で」取り組む姿勢や「感謝」を忘れることのない心を表しており、この建学の精神のもと、高美が丘中学校は30年に亘って歩みを止めることなく、高美が丘中学校があり続けています。



校
訓



創立10周年記念
於：校舎正面

創立20周年記念
於：体育館

○高美が丘中学校と地域の共育活動(共に育つ活動)

高美が丘中学校の校章は、それぞれの先端が「知」、「徳」、「体」を表しており、高美が丘中学校はこれまで、「知」、「徳」、「体」の調和のとれた生徒の育成を目指し続けてきました。また、校章の中にある「高」は、高屋町・高美が丘の地名にある「高」と知・徳・体の3つの理想を「高」く掲げることを意味します。

高屋堀、杵原、高美が丘が合わさることで新たにできた高美が丘学区と高美が丘中学校は、互いに作用し合い、地域が学校を支え、学校が地域に活力をもたらすことで、共にこのまちを育ててきました。

～高美が丘中学校と地域の共育活動の一部紹介～

- ・地域新聞づくり(H13～H17)

生徒が、地域に取材に出向き、地域に住む人びとにインタビューすることで新聞記事を制作しました。「人びとの生活をつき動かしてきた生活向上への意欲、それを支えた努力、その中から生まれた知恵」を学んだとされています。このまちを知ることができる貴重な史料の1つです。



- ・ミュージカル高美が丘(H19, 20)

生徒、先生、保護者、地域の方の総力で完成させる「ミュージカル高美が丘」。脚本、衣装、音楽、すべて手作りで、生徒だけでなく、保護者、地域の方も出演されました。

ミュージカルの創作に主体的・創造的に取り組むことで、個性の伸長を図るとともに、人間の生き方や人びととの関わり方について考え、行動できる力を養いました。



- ・学校緑化活動(H25～現在)

菊づくり、花にあふれた学校づくりを行うことで生徒たちの生命尊重の心を育てています。また、PTAや地域の方の協力を得て、地域で学び、地域づくりに貢献しています。現在も本気で、そして感謝の心を忘れることなく取り組んでいます。

高美が丘中学校の学校緑化活動は、平成27年度、29年度 全日本学校関係緑化コンクールで特選(全国第1位)、令和2年度は準特選(中学校全国1位)を受賞しました。



高美が丘中学校
校章

